

仙台フィンランド健康福祉センター事業創成国際館が コロナ禍の介護施設と利用者家族のコミュニケーション問題を解消する 情報共有ツールの開発を支援

～仙台市の地元 IT 企業が介護従事者と連携開発した新サービス～

仙台フィンランド健康福祉センター事業創成国際館（設置運営：(公財) 仙台市産業振興事業団）が開発を支援した、エクスツー合同会社（仙台市、代表 嶺岸憲一氏）の新サービス「介護情報共有システム『スマイルサーブ』」がこのたび発売されます。本サービスは、介護現場が抱える情報共有の問題を解消すべく、介護事業所と利用者家族の情報共有の効率化を目指したコミュニケーションツールです。

特に昨今の新型コロナウイルス感染拡大による面会制限から、利用者の家族との連絡や情報共有に多くの介護事業所が課題を抱えています。本サービスは、施設利用者のケア情報を家族・職員間で共有することで、家族との信頼関係向上や介護サービスの質の向上に貢献するものとして、介護施設での実証において高い評価を受けています。

商品概要

介護施設のケア記録に写真・動画・コメントを付加して情報共有ツール上にアップロードし、家族や職員間で共有できる新コンセプトの WEB システム

- 既存の介護ソフトや独自の記録帳票からケア記録を転送できるので、共有するための転記手間を削減
※RPA（ソフトウェア型ロボットによる自動処理）による転送機能（オプション）は、従来同様システムにはない新機能です。
- 利用者の様子を家族がスマホやタブレット等でいつでも閲覧可能
- 公開する情報と公開先を自由に選択可能で、必要な情報を必要な人に届けられる
- 職員間の情報共有がスマホで手軽にできるので、申し送りの時間を削減
※詳細は別途をご覧ください。



開発経緯

当センターが仙台市と取組む^{ケアテック}CareTech推進事業のニーズリサーチ（H30 年度）参加を機に、市内介護施設の協力のもと現場課題の調査に着手。ソリューションビジネスの開発検討を経て「H31 年度健康福祉サービス・機器開発委託事業」に採択。市内複数施設で実証試験を行い、現場の声をもとにブラッシュアップを重ね、正式発売に至る。



CareTech

介護福祉 (Care) ×IT (Technology) の融合により、介護現場の課題解決に資する実用性の高いソリューションビジネスを推進する仙台市の取り組みです。

仙台フィンランド健康福祉センターでは、介護現場の労働負担軽減や生産性の向上、高齢者の自立等につながる製品・サービス開発をサポートしております。



▼支援内容に関するお問合せ
公益財団法人仙台市産業振興事業団
FWBC 推進室 齊藤
〒981-0962 仙台市青葉区水の森 3-24-1
☎022-303-2666 ✉rdunit@sendai.fwbc.jp

▼製品、ご取材に関するお問合せ
エクスツー合同会社
代表 嶺岸 憲一
〒981-3132 仙台市泉区将監 1-9-1
☎090-1063-5809 ✉minegishi@x2sendai.com